

コミュニティ・スクール通信



東連携型小中一貫校
学校運営協議会



「いじめ問題解決に向けた教育懇談会」を開催しました

地域の皆様には、日頃より東連携型小中一貫校の教育活動にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。冬休みが明け、3学期のはじまりとともに、子どもたちが寒空に負けず元気に登校している姿が見られるのも、地域の皆様のご支援やご協力があるからこそであり、改めて感謝を申し上げます。

さて、昨年11月29日に「いじめ問題解決に向けた教育懇談会」を開催しましたので、その内容をお知らせします。



藤岡第一小児童会の発表

懇談会内容について

学校運営協議会と4校 PTA 共催で、地域の各関係団体（区長会、民児協、青少推、更生保護女性会）、保護者、教職員の皆様に参加いただき、約80名で開催しました。

全体会では「東連携型小中一貫校のいじめの現状と取組」を学校より説明し、そのあと「いじめ問題解決に向けた子どもの取組」について、藤岡第一小児童会本部役員の子どもたちが発表してくれました。子どもたちのすばらしい発表を受けて、「子どもたちのために、いじめを許さない心豊かな地域をつくろう!」という大人の気運が一層高まり、そのあとの熟議の中で『EAST 子育てアクションプラン』の「豊かな心」に関する「家庭」「地域」の取組について振り返り、主に以下のような意見や改善点が出されました。



グループ熟議の様子

1. 「あいさつ・感謝の言葉」を、大人が率先して言うことが大切。あいさつ・感謝の気持ちを伝えることの大切さを、大人が手本となって伝えていきましょう。
2. ほめられれば子どもはうれしい。「ほめて、伸ばす」ことで、互いの信頼関係を築き、子どもの自己肯定感を高めていきましょう。
3. 「子どもの居場所づくり」に努め、ふれ合う中で、その変化やサインを見取り、子どもの悩みに向き合っていくようにしましょう。

上記の意見をもとに、『EAST 子育てアクションプラン』（2025～2027 年度版）を作成します。



読書ってたのしい！ ～その5「本選びから始まる読書の楽しみ」～

読書を楽しむためには自分の目的に合った本との出会いが必要不可欠だと思います。本探しの方法として、昨今ではインターネットを利用しているという方もいるかもしれませんが、今回は書店についてフォーカスしたいと思います。

「ズバリ、リアル書店の良いところは？」という質問を書店の店員さんにインタビューしてみました。「実際にたくさんの本を眺めて、手に取り感触を確かめてもらえるところ」正にこれこそ書店のメリットです。また、自分にとって未知のジャンルに出会えるのも楽しみのひとつではないでしょうか。さらに家族で出かける楽しみ、買う楽しみ方もあるかもしれません。最近では趣向を凝らした書店もあります。週末、思い出の一冊を探しに家族で出かけてみてはいかがでしょうか。